

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
五健堂第2堂総合物流センター

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.2.0)

スコアシート 実施設計段階					
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分	住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	
Q 建築物の環境品質					3.0
Q1 室内環境			0.31		3.2
1 音環境		3.0	0.15	-	3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	-	
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	
2 設備騒音対策		-	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	5.0	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	4.0	
1.3 吸音		3.0	0.20	1.0	
2 温熱環境		3.0	0.35	-	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	
1 室温設定		3.0	0.38	3.0	
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	
3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	
3 光・視環境		3.0	0.25	-	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	
2 方位別開口		-	-	3.0	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	5.0	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	
3.3 照度		3.0	0.15	-	
1 照度		3.0	1.00	3.0	
2 照度均斉性		-	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	
4 空気質環境		4.0	0.25	-	4.0
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	
1 化学汚染物質	有害物質を含まない材料を使用する	5.0	1.00	5.0	
2 アスベスト対策		-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	
1 換気量		3.0	0.33	3.0	
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	
4 給気計画		-	-	-	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	3.0
1 機能性		3.0	0.40	-	3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.58	-	
1 広さ・収納性		3.0	0.33	4.0	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.39	-	
1 広さ感・景観		3.0	0.33	3.0	
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33	-	
3 内装計画		3.0	0.33	3.0	
1.3 維持管理		4.0	0.03	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	
2 維持管理用機能の確保	維持管理しやすい配管ルート(露出配管)の設定、適切な点検口	5.0	0.50	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31	-	3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	

2.3 適切な更新				-	-	-	-
2.4 信頼性			3.0	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.0	0.29	-	-	3.0
3.1 空間のゆとり			3.0	0.31	-	-	
1	階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.03	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.28	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR=15.2	3.0	0.42	-	-	3.0
4 効率的運用			3.0	0.28	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63	-	-	3.0
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	床タイル	3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		3.0	0.33	-	-	
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	